

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 5 日作成)

委員会名	鋼構造座屈小委員会	主 査 名：上谷宏二
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：小野徹郎
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	鋼構造の座屈に関連する研究及び技術を性能設計の観点から調査し、必要ならば「鋼構造座屈設計指針」の見直しを行う。また、部材座屈と全体座屈の連成を総合的に考慮できる座屈解析法とそれに基づく設計法を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査：上谷宏二(京都大学) 幹事：大崎 純(京都大学) 委員：小河利行(東京工業大学)・小野徹郎(名古屋工業大学)・川口 淳(三重大学)・河野昭彦(九州大学)・木村 衛(新都市ハウジング協会)・竹内 徹(東京工業大学)・多田元英(大阪大学)・谷口与史也(大阪市立大学)・辻岡静雄(福井工業大学)・堀 昭夫(テクニカルスルー)・緑川光正(建築研究所)・山田大彦(東北大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<b>鋼構造性能設計WG</b> ： 鋼構造骨組の座屈を考慮した性能設計のための座屈解析・設計の情報整備 <b>骨組座屈の統合的評価WG</b> ： 鋼構造骨組座屈の統合的評価法とそれに基づく座屈設計法の構築	
2003 年度予算	530,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 7 月 28 日・7 名 9 月 25 日・5 名 12 月 12 日・8 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>成果の具体的内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「骨組座屈の統合的評価 WG」において、「座屈部材塑性繰返し変形性能」及び「座屈性能評価式」について文献を調査してデータベースを作成した。</li> <li>・「鋼構造性能設計 WG」において、骨組座屈の統合的評価が必要な事例を収集するとともに、座屈解析法の現状を調査した。</li> <li>・上記成果に基づき、2004 年 3 月に拡大小委員会を開催する予定。</li> </ul> <p>成果の学術的・技術的・社会的価値：</p> <p>鋼構造部材や接合部の座屈に関してこれまでに得られていた学術的成果を収集し、性能設計と統合的評価のために利用することにより、鋼構造骨組の構造設計技術の発展と、骨組の安全性向上のために貢献することができる。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>2003 年度の活動計画のとおり、上記の成果を得ることができた。</p>
その他評価すべき事項	